

町民の皆さま

梶原町役場 総務課  
(危機管理係)

梶原あんしん光ネットサービスの一時停止について (お知らせ)

日頃は、梶原あんしん光ネット業務にご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、この度、梶原あんしん光ネットセンターUPS 交換作業を行うこととなりました。

工事は下記日程で行われ、停波中は梶原あんしん光ネットのサービス (IP 電話、テレビ、告知端末) の使用が出来なくなる時間帯があります。ご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、不明な点につきましては、梶原町役場総務課までお気軽にお問い合わせください。

記

1、工事日時

**令和8年2月26日 (木)**  
**午前0時～午前6時の間**

2、作業場所

梶原、六丁、中平

3、停止対象世帯

**梶原町内全域**

梶原町役場総務課  
危機管理係 (大町)  
電話 : 65 - 1111

# ReMORI MONTHLY



2026年1&2月号  
Vol.28  
IN ゆずはら

林業情報を発信！  
りもりマンスリー

## 01 Contents

P.02 ReMORI から新年のごあいさつ

P.03 林業の世界への本格的な一歩  
-協力隊紹介 原田 翼考-

P.04 林業現場に地元女性が参入 川上真希さん



## 02 Instagram

### ゆずはら地域おこし協力隊

協力隊の活動、時々プライベートを発信中！  
移住者視点の栲原の魅力をお届けします！



吉井香在



下村健太



原田翼考

### yoshii\_wood.artist

現役協力隊の吉井香在が林地残材で木工作品を制作。放置されている材に新たな命を吹き込み、作品を通じて自然の美しさを表現します。

### WOODNEIGHBORS -ウッドネイバース-

協力隊を卒業した角金玄が個人事業主として開業。ロープクライミングで樹上へアクセスし住宅や公共施設、神社仏閣などの樹木の伐採(剪定)を事業としています。

### 株式会社 KIRecub -きりかぶ-

協力隊を卒業した下村智也を代表取締役として、令和6年8月より造林・育林事業を基軸にした会社として設立。メンバーの大半は協力隊出身、栲原で林業を学び、前職も全く畑違い。林業の魅力を知ってもらう為に事業を運営しています。



編集・発行：栲原令和の森林づくり協議会 ReMORI-りもり- 笹岡・下村  
お問い合わせ：森林づくり脱炭素推進課 TEL：0889-65-0811  
お気づきの点、ご意見・ご要望がございましたら上記までご連絡ください。

## ReMORI から新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

新春を迎え皆様にとりまして輝かしい一年でありますよう、お祈り申し上げます。

栲原令和の森林づくり協議会 ReMORI も早いもので六年目が過ぎようとしております。

全国各地から、山に興味のある地域おこし協力隊が林業研修生として来町していただき、体験型林業研修をして頂いております。すでに研修期間を終えた卒業生が、それぞれの思いの方向で林業を確立して活躍して頂いておりますことはこの上ない喜びであります。

事業としての林業は、<sup>じこしら</sup>地拵え・植林・育林、六十年生位になりますと伐採事業と幅広い世界です。

研修生の皆さんが、自分の思いと考えの中で合致した世界での活躍をして頂いておりますことは誠に嬉しい限りです。

昭和三十年代に植えたスギ林、ヒノキ林も六十年生となっており、今が伐期最適林齢であることを考えます。

町内の自伐林業、事業林業家、並びに研修生のさらなる活躍を願わずにはられません。

令和八年が始まりました。何においても安全第一に林業作業をしていただきますようお願いいたしますと共に、皆様にとりまして輝かしい

一年となりますよう、心から願いまして、私の新年の挨拶とさせていただきます。



## 今回の REPORTER-リポーター-



栲原令和の森林づくり協議会 ReMORI 会長  
川上木材 創業者

川上 周一 -Syuichi Kawakami-  
昭和22年生まれ。川上木材を昭和60年に創業し、現在親子2代で経営中。令和7年からは ReMORI の会長に就任。自宅にカラオケ設備を揃えるほどのカラオケ好き。

過去のリモリマンスリーの  
記事はこちらから



## 林業の世界への本格的な一歩 -協力隊紹介 原田 翼考-

私は昨年7月に地域おこし協力隊として着任し、林業の世界に本格的に足を踏み入れました。入隊後、林業に必要な資格を一通り取得し、現在は実践を通じて技術と知識を深める日々を送っています。

今は協力隊を卒業された角金さんのもとで特殊伐採の作業に携わり、現場で求められる判断力や安全管理、技術的な考え方を学んでいます。また、安井建築さんの皆伐現場では集材作業を中心に経験を積み、作業全体の流れやチームでの動き方について理解を深めています。

チェーンソーでの伐倒や重機による積込み、索道や架線といった作業は、頭で理解するだけでなく、実際の現場で確実にできる技術として身につけていきたいと考えています。林業には多種多様な技術があり、それらを当たり前のように使いこなす方々が身近に大勢いる環境は、とても恵まれていると感じています。この環境を最大限に活かし、少しでも早く、そしてできるだけ多くの技術を吸収していきたいです。

前職では建築・土木関係の企業で業務改善に携わってきました。その経験を活かし、林業の現場で得た知識や経験を記録し、マニュアル化することで、今後協力隊に入隊してくる方々の参考になる形で残していきたいと考えています。

す。休日には、伐採で出た木材を使ってチェーンソーで猫の彫刻をしたり、製材した木材で家具を作ったりしています。2025年11月に開催された森林フェスティバルをきっかけに彫刻を始めましたが、作品づくりを通してチェーンソー操作の上達も実感できています。

体力を使い、常に危険と隣り合わせの仕事ではありますが、木や山と真剣に向き合いながら働いているこの環境は、私にとってとても楽しく、有意義な時間です。



### 今回の REPORTER-リポーター-

ゆすはら地域おこし協力隊

原田 翼考 -Shigenori Harata-



新潟県佐渡島出身。特殊伐採に、彫刻、革細工、狩猟など梶原でやりたいことが盛りだくさん。

### ReMORI NEWS

2月20日～22日の期間中、林業体験ツアーを開催しております。参加者の方々には、町内の林業事業体や町並みを見学・体験していただきます！私たち地域おこし協力隊もこのツアーがきっかけで梶原に移住してきました。もしかしら、さらに町民が増えるかも…？その際には、皆様あたたかく迎えてあげてください。



## 林業現場に地元女性が参入 川上真希さん

森林づくり担い手育成塾の一期生・川上政志さんの奥方に出会ったのは、私が育成塾長をしていた時でした。5年以上前のことです。その時、「将来は山仕事をしたい」と聞いて驚きました。嫁ぎ先の義父・周一氏（リモリ会長）は中学卒業後、木曾や日光で林業を修業した方です。帰郷後の素材生産業は何と「家内と二人で始めた」と伺っていました。明るい真希さんの第一印象から「この人ならやれるかも」と思ったことでした。

冷え込みが始まった昨年の11月中旬、彼女の凛々しい姿を越知面の山で確かめました。保育士（梶原こども園）の仕事に区切りをつけ、春から山に入ったそうです。ラジキャリ（自走式搬機）のリモコン操作は、すっかり手慣れた様子です。

周一氏創業の川上木材は伐採搬出を小人数で熟し、効率良い仕事に定評があります。手順はチェーンソーで伐倒し、枝を払う。荷掛けして、ラジキャリの操作。土場のプロセッサーで造材し、トラックへ積み込む。川上木材の山師は全ての作業に熟度が高いため、効率がいいのです。

「奥さんはどこまで出来る？」、政志さんに尋ねました。「親父が僕が用事で休んでも、仕事が止まらなくなった」。真希さんはチェーンソーでの伐倒・枝払いを覚え、仕事を終えてからプロセッサーの練習をしていました。川上木材には育成塾一期生の高橋元気さんが加わり、体制は一層充実してきています。

かつて、町内の植林事業を支えたのは女性たちでした。再度、梶原林業に女性が活躍する時代が来るのかもしれない。政志さんは川上木材を法人化して「株式会社」にしました。

なぜ、山仕事を？改めて真希さんに尋ねました。

「結婚する時、両親から川上家の家業（林業）を大事にせないかんよ、と言われました。いつかはと思っていました。法人化して事務処理が大事になり、体力的に今なら仕事を覚えられるかも、と気持ちを固めました。まだヒヨコです。頑張ります。」



### 今回の REPORTER-リポーター-

梶原令和の森林づくり協議会 ReMORI

笹岡 高志 -Takashi Sasaoka-



高知市生まれ。高知放送を退職後、梶原町産業担い手育成塾長（森林づくり）、梶原令和の森林づくり協議会（ReMORI）前会長。現在も梶原の森林づくりのため、協力隊と地域の林業事業体のパイプ役として尽力。